

寺報 善 巧

ぜん ぎょう

発行

〒938-0862 富山県
黒部市宇奈月町浦山497
白雪山 善 巧 寺
TEL (0765) 65-0055
FAX (0765) 65-0975
メール info@zengyou.net
URL http://www.zengyou.net

寺
こよみ

七月

一日 音沢お講
七日 清掃奉仕
九日 仏教婦人
黒西組研修会

永代祠堂会

一五日 法要準備
一六日 中陣お講
戦没者追悼法要
一七日 寺族・総代
追悼法要
一八日 仏婦追悼法要
内陣法名法要
夜法座
一九日 内陣法名法要



永代祠堂会にぜひお参りください

永代祠堂会

七月十六日～十九日

講師：末本弘然師（大阪）
講題：輝いて見えてくるもの
～生活の中の仏教～

照行寺第八世住職、神子勉さんが往生の素懷をとげられました。四月末に検査入院されて病気がわかり、手術も無事にすまされたと聞いていたのですが、予後が思わしくなく六月二十日お浄土に還られました。六月二十二日のお葬儀には沢山のお参りがあり、神子さんのお徳を偲んでお別れをしました。組内ご法中、善巧寺総代、仏婦のご協力のおかげさまで滞りなく葬儀が執り行われたことをここに報告申し上げます。親しい方に先立たれることはとても寂しいです。そんな時に耳にする言葉、「しもうてかれたねえ」。この方言が好きです。なんとも言えない寂しさと温かさを感じます。ただ寂しいだけではなく、人生を全うされたことへの敬意とお疲れさまの意味が込められていると思います。そ

またお会いしましょう

して、私たち浄土真宗門徒は、「またお会いしましょう」と言葉を添えます。なんと有り難いことです。人ごとならば、「死んだらしまい」で済ませられるかもしれませんが、身内や親しい友人、自分自身のことを思うと、それでは決して済ませられない問題があります。「また会おう」とは、故人を仏さまと仰ぎ、私自身も仏さまにならせていただくいのちを生きているんだという確認をさせられます。人生はリセット出来ない。だけれども、また会う世界を聞く者にとって、仏の名を称える声に故人を感じます。名残り惜しくもこのいのちを終えていく時に、どんな顔をしてお会いするのか。それは、死後に囚われる話ではなく、今、生きる力として、私に響いてきます。

雪山 俊隆

総代会

六月十三日

平成二十二年六月十三日午後一時半から善巧寺門徒会館二階にて、総代会が行われました。

責任役員有馬文義さん、善巧寺住職のあいさつの後、新総代の紹介。続いて、議長に総務部長の中坂岩雄さんが選出され、議事進行へと移りました。

平成二十一年度行事報告・会計報告が行われ、監査代表の森岡英一さんより、滞りなく監査を執り行ったことが伝えられました。満場一致で議事が進みます。

平成二十二年度行事案では、教化部長鬼原猛さんより、今年度は法要バスを永代経、報恩講と年に二回行うこと、昨年好

評だったパークゴルフを今年も行うこと、法要のお返しの商品を実用的なもので考えていきたい等が報告されました。営繕部長加藤友司さんからは、中庭と境内の銀杏枝打ち、本堂の畳入れ替えについて、また裏庭の石垣改修案などの報告がありました。

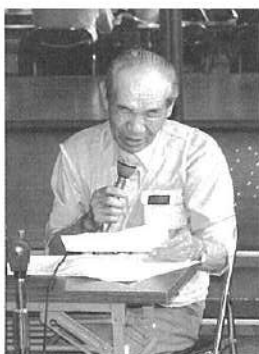
質疑応答では、銀杏の枝打ちや、建物更生共済について質問がありました。枝打ちに関しては、中庭の銀杏は場所が限られているため、将来的に伐採も考えていかなければならないが、当面は定期的な枝打ちを行うことで維持管理していくことになりました。



監査・森岡英一さん



教化部長・鬼原猛さん



営繕部長・加藤友司さん



議長・中坂岩雄さん



責任役員・有馬文義さん

その他、二年後に控える善巧寺七五〇回大遠忌法要の記念事業ご懇志について現状報告があり、厳しい状況であることが伝えられました。それを踏まえ、年間の営繕費から少しでも負担出来ないかを考慮し、畳の入れ替えを年間費用から貯蓄していくことが報告されました。

今回の総代会で仏婦の新役員が紹介されました。

川瀬和美さん（東狐）
副会長
川瀬恒子さん（東狐）
監査
川瀬紀美子さん（東狐）

上野地区は会計・書記を二人ずつ三カ月交替で務められることになりました。

板川早苗さん・板川スイさん、板川由美子さん・板川志津子さん、板川千賀子さん・板川冴子さん、板川恵子さん・板川静子さん、板川由美子さん・



板川久代さん、板川幸子さん・板川智恵子さん、板川幸子さん以上の皆さんです。

活動は四月から始まっています。常任委員の川内美世子さん、そして橘照子さん、大藪節子さんほか旧役員が遠方の役員さん達をサポートしてくださいいます。みんなの力で善巧寺仏教婦人会を守り、自らが仏法にあうご縁になればと念じています。



川瀬紀美子さん



川瀬 恒子さん



川瀬 和美さん

開澤 英一さん
栃沢地区尾村 幸枝さん
中新地区板川 清治さん
上野地区

親鸞聖人七五〇回

大遠忌関連

今年の十月十九日には、

黒西組のお待ち受け法要が勤まります。宿寺は善巧寺となりました。この日と翌日の二十日は、善巧寺の報恩講中でもあります。是非ふるってご参拝ください。

また、来年平成二十三年四月から親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が本願寺で始まります。黒西組（黒部市・魚津市の浄土真宗寺院）では、四月十三日～十四日に団体参拝が企画されました。定員

五百名ほどの大旅行です。次号の寺報と重ねて申し込み用紙をお送りしますので、ぜひ五十年に一度の大法要にご参加ください。

尚、繰り返しお知らせさせていただきます。善巧寺の七五〇回大遠忌法要のご懇志は随時受け付けております。後世に残る記念事業となりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

黒西組 お待ち受け法要

平成二十二年十月十九日

黒西組 団体参拝旅行

平成二十三年四月十三日～十四日

花まつり

四月二十六日

花まつりは仏教の開祖
お釈迦さまの誕生日をご
縁に行われている行事で
す。

今年は天候に恵まれ、
三組の受式者が初参りを
受式されました。仏前
にて、花の会のコースに
導かれて受式者入堂。赤
ちゃん誕生を祝い、お
釈迦さまの誕生地ルンビ
ニが花咲き乱れる土地で
あったことに因んで、お
つとめでは華葩が撒かれ
ました。

境内では夢を語る会の
協力、仏婦や日校OBに
よる手作り縁日がふるま
われ、雪ん子劇団の踊り
や歌が花を添えました。
また、今回は桜井高校の
放送部が取材を兼ねて前
日の花摘み、花飾りから
参加して、とても力になっ
てくれました。





常在委員で津村別院参拝

前日十八日、範子総裁ご臨席のレセプションに二名で参加。全国からお越しの方々と親しく懇談しました。総会は五十年ぶりに本山御影堂で三百五十四名参加で開催されま

仏教婦人会総連盟総会

四月十九日

仏教婦人会黒西組総会

四月十日

魚津法盛寺さんで開催されました。善巧寺が役員になって二年目。坊守が進行を川内美世子さんが書記を担当、善巧寺から八名の参加でした。



巧寺が黒西組の代表となっていて、川内美世子さんが開会の言葉を宣言、総会の議長は坊守がつとめました。東狐から新役員も参加しました。



開会式では川瀬和美会長が仏旗を持って入場。今期は善

仏教婦人会富山教区総会

四月二十二日

した。寒さに震えながらの総会でしたが、なかなか連盟の総会に参加する機会はないので珍しさにきよろきよろしていました。

雪ん子劇団

七五〇回大遠忌からぐ招待

今年是全国各地で親鸞聖人七五〇回大遠忌お待ち受け法要が勤修されています。その大会の記念事業として雪ん子劇団を招待していただく事が多くこども達は大活躍です。

三カ所三様の会場でしたが、どこへ行っても歓迎欲待していただいて有り難いことでした。

良い舞台を勤めさせていただきました。



福井教区邦中組

五月二十三日

鯖江市の北中山公民館で勤修されました。暗幕も照明もない広い講堂にいつぱいの参拝者を前に雪ん子ジュニアは生き生きと演技をしました。お客様は『落語』では大いに笑い、『うちのとうちゃん』では手拍子や拍手などして喜んでくださって、

東海教区朝明組

五月二十九日

一週間後は三重まで二泊三日の公演旅行です。今回は中学生以上のシニア部のみの公演です。昨年の千葉公演から手がけてきた『桃次郎の冒険』も三十周年記念と合わせると三回目になります。あいあいホールという立派なホールです。高校三

年生にとっては最後の公演という思いも強かったのでしょうか、大変熱のこもった舞台となって、主催者の方々も大いに喜んでくださいました。



兵庫教区赤穂北組

六月二十七日

最後はジュニアだけで一泊二日の赤穂行きです。

片道八時間という強行軍でしたがここでも温かいおもてなしを受けました。宿は木造りのおしゃれな建物で夕食はバーベキュー。美味しいお肉に舌鼓をうちました。学園都市のような緑深い山頂にある先端科学技術支援センターという建物での法要です。演劇ホールではなく会議場で、舞台設定や照明には苦労がいましたが、スタッフ、団員のお父さんお母さんの協力のおかげで無事に公演することができました。

いつもながら雪ん子のチームワークの素晴らしさに感動します。帰りは「また来てね」という嬉しい声を後にして慌ただしく出発、帰り着いたのは夜中の十一時半でした。こども達は翌日学校で、

父兄や社会人OGは仕事で辛かったでしょうが、すばらしい思い出をいただてきました。



平成21年度 収支決算

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(歳入)	費目	予算額	決算額	(単位 円)	対 比
1. 布施収入		11,200,000	11,570,189		△370,189
年中行事		1,700,000	1,730,164		△ 30,164
門徒法要		9,500,000	9,840,025		△340,025
2. 寺 費		4,800,000	4,856,000		△ 56,000
3. 雑収入		60,000	110,600		△ 50,600
4. 繰越金		104,071	104,071		0
合 計		16,164,071	16,640,860		△476,789

(歳出)	費目	予算額	決算額	(単位 円)	対 比
1. 寺院維持費		3,231,310	3,220,639		10,671
宗派課金		739,860	732,830		7,030
公租公課		84,500	84,500		0
諸会費		28,000	28,000		0
営繕修理費		1,750,000	1,746,359		3,641
保険費		628,950	628,950		0
2. 寺院運営費		5,730,000	5,928,582		△198,582
教化費		570,000	599,218		△ 29,218
法要費		1,500,000	1,485,981		14,019
会議費		170,000	165,090		4,910
門徒接待費		300,000	298,505		1,495
事務費		380,000	394,176		△ 14,176
管理費		1,600,000	1,785,612		△185,612
専門教育費		1,200,000	1,200,000		0
雑費		10,000	0		10,000
3. 人件費		7,200,000	7,200,000		0
4. 予備費		2,761	0		2,761
合 計		16,164,071	16,349,221		

平成22年度 予算案

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(歳入)	費目	決算額	予算額	(単位 円)
1. 布施収入		11,570,189	11,450,000	
年中行事		1,730,164	1,650,000	
門徒法要		9,840,025	9,800,000	
2. 寺 費		4,856,000	4,810,000	
3. 雑収入		110,600	60,000	
4. 繰越金		104,071	291,639	
合 計		16,640,860	16,611,639	

(歳出)	費目	決算額	予算額	(単位 円)
1. 寺院維持費		3,220,639	3,432,000	
宗派課金		732,830	740,000	
公租公課		84,500	85,000	
諸会費		28,000	28,000	
営繕修理費		1,746,359	1,950,000	
保険費		628,950	629,000	
2. 寺院運営費		5,928,582	5,950,000	
教化費		599,218	750,000	
法要費		1,485,981	1,500,000	
会議費		165,090	170,000	
門徒接待費		298,505	300,000	
事務費		394,176	400,000	
管理費		1,785,612	1,600,000	
専門教育費		1,200,000	1,200,000	
雑費		0	30,000	
3. 人件費		7,200,000	7,200,000	
4. 予備費		0	29,639	
合 計		16,349,221	16,611,639	

歳入 歳出 次年度へ繰り越し
 16,640,860 - 16,349,221 = 291,639

※十月十九・二十日は善巧寺の報恩講です。その初日に、黒西組のお待ち受け法要を重ねてお勤め致します。詳細は十月号の寺報にてお知らせします。
 ※九月より始まる音沢報恩講(ほんこさま)の詳しい日程については、後日、別紙を配布しますので、そちらをご覧ください。

二日 お寺座ライブ
 一九日 黒西組親鸞聖人
 お待ち受け法要

寺
ごよみ

十月

二八日 富山教区仏婦
 二九日 連盟研修旅行

寺
ごよみ

九月

一六日 お盆参り
 一六日 雪ん子公演
 一五日 青年盆会
 一三日 中なお講
 一日 石田・生地・

寺
ごよみ

八月

永代祠堂会

七月十六日から四日間、恒例の永代祠堂会がつとまります。この法座は、門徒の方々の祠堂の懇志に対して、永代にわたっておつとめをさせていただくもので、いわば門徒の皆さんの総法要ですので、万障繰り合わせて、必ずお参りください。

十六日 午前十一時 中陣お講

午後一時 戦没者追悼法要

十七日 午後一時 寺族・総代物故者追悼法要

十八日 午後一時 仏婦物故者追悼法要

内陣法名法要

午後七時 夜の法座

十九日 午後一時 内陣法名法要

講題 輝いて見えてくるもの

～生活の中の仏教～

講師 大阪正福寺住職

本願寺派布教師

末本弘然師

*十九日御満座には、黒部、入善、宇奈月方面の送迎バスを運行します。

清掃奉仕

七月七日

年に四回行われる清掃奉仕。総代、仏婦の方々を中心にご奉仕いただきました。近年、屋根の上に登って行う作業に困っており、どなたか慣れておられる方がおられましたらご一報お願い致します。次回は十月です。

法要準備

七月十五日

青年盆会

八月十三日

こども盆踊り

八月十五日午後六時半

お盆参り

八月十六日午前十時半

この一年の間にご往生された方のあるご家庭へご案内申し上げております。故人を偲ぶ日を大切にしましょう。

ご講師紹介 末本弘然師



「本願寺新報」の記者を長年務められ、現在は大阪正福寺の住職をされる傍ら、NPO法人・JIPOの常任理事、超宗派のアジア仏教徒協会理事など、仏教徒の国際支援活動に取り組んでおられます。「仏事のイロハ」「亡き人の偲び方」仏教的なもの「見方入門」など、多数の著書でも知られます。善巧寺の今年度のテーマは「生活に根ざした仏教」。仏教は死んだ後の話と片付けられないように、生きる力となることを、どうぞ共にお聞きしましょう。

合 掌

住職夫婦が第二子を授かり、「隆汰(りゅうた)」と名付けられました。住職俊隆、前任職隆弘、その祖父興隆と代々つながれてきた文字をいただきました。



* * * 前任職隆弘の『赤いバラは赤いまま』好評により再版されました。まだお読みでない方はどうぞ。永代祠堂会にご出講される末本先生の出版物もお寺に用意しますので、是非お求めください。

* * * 一頁に掲載の通り、長年お世話になった照行寺住職の神子勉さんが往生の素懐をとげられました。今でもふつと「無理さんようにね」と物静かな声が聞こえてきそうです。またお浄土でお会いしましょう。

